

プラスチック削減、気候危機への対策を求める請願

【請願趣旨】

地球温暖化の影響で、日本でも命をおびやかされるほどの酷暑、記録的豪雨や巨大台風の来襲で甚大な災害が頻発する非常事態となっています。日本も締結国となっているパリ協定は、最新の科学的知見から産業革命前と比べ、世界の平均気温上昇をできれば1.5度に抑えることをめざしています。世界の平均気温はすでに約1度上昇しており、科学者は早ければ2030年には1.5度上昇し、生態系への影響は深刻な状況となり、2度上昇すれば動植物の絶滅の危険性は一気に跳ね上がると厳しく警告しています。現在のペースで温室効果ガスを排出し続ければ、今世紀末までに最大4度上昇する可能性も指摘され、温暖化対策の抜本的強化は待ったなしです。

世界でも有数の温室効果ガス排出国である日本が、パリ協定に見合った削減目標も、対策も打ち出さず、石炭火力発電所をさらに増設しようとしていることは許されません。気候危機への対策強化を求め、以下要請します。

【請願項目】

- 1、使い捨てプラスチックは使用禁止をめざし、期限を持って大幅削減にとりくむこと。一般家庭からの使用済みペットボトルの回収とリサイクルは製造・販売者の責任で行わせること
- 1、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを掲げ、2030年までに50%以上削減する（1990年比）目標を国内外に公約すること
- 1、原発ゼロの方針を明らかにすること。石炭火力発電の輸出も国内新設もせず、2030年までに廃止すること
- 1、温室効果ガス排出大幅削減目標に見合った再生エネルギー（再エネ）普及の目標を持つこと。再エネ推進は地域との合意を得ながら進め、再エネを優先的に接続・給電する電力システムに急ぎ改善すること

名前	住所 (名前、住所は省略せず、一人ひとり明記してください。「同上」「〃」は無効です)

この個人情報は国会請願以外使用しません。

2020. 2



新日本婦人の会

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20